〈業務の取り組み体制、コンソーシアムの特徴〉

息をのむ空間を作る「創造力」と経験に裏打ちされた「確実性の融合」

住宅や公共空間において数々のデザイン実績をもち、息をのむような空間づくりで着実に実績をのばしてきた意匠設計者と、きめ細やかな公共空間の設計に長年携わってきたベテラン設計者による設計・監理チームが、建築・構造・設備・電気主任技術者との密な連携をとりながら最適な計画を導き出します。

地域を変えるデザイン力

アトリエ設計事務所ならではの自由な発想とデザイン力を発揮し、青森の新しい顔と呼ぶにふさわしい空間を提案します。豊富な実績を残してきた「地域を変えるデザイン」ノウハウを最大限活用します。

地域を変える設計監理実績
- 中心市街地学習拠点交流施設（弘前市／ 2017 年）
- 農産物加工場交流施設（弘前市／ 2014 年）
- 地域デザイン創造学習拠点施設（横手市／ 2016 年）
- 地域交流空間付シェアハウス（荒川区／ 2017 年）

早期課題抽出と解決

建築・土木に豊富な施工実績をもつ施工担当者がその経験と現地リサーチから早期課題抽出を行い設計作業と相互にフィードバックすることで、短期間の事業でも充実し確実性を備えた計画を実現します。

着実な業務遂行能力

経験豊富な設計者・施工者を中心とした地域内のネットワークを活かしたチーム体制で、着実な業務遂行能力を発揮するとともに、きめ細やかな設計実績を活かし発注者の課題に素早く対応できるフットワークの良い体制とします。

「人を迎え、集い、送る」市民が映える舞台のようなターミナルを提案します

港に近づくにつれて高まる期待感。徐々に見えてくるのは色とりどりの大漁旗、そしてそれを力いっぱい振る多くの市民たち。世界中から訪れた人が「いちばん初めに出会う青森」に何がふさわしいか。それは元気であたたかい歓迎の気持ちにあふれた市民だと考えます。

青森各地に名所や特産品は数え切れないほどありますが、名所はその場所を訪れてこそ本当の価値を味わえるもの。玄関口であるターミナルはそれらを集めた観光館ではなく、これから出会う青森の無限の可能性を想起させ期待感を高める必要最低限で印象的な空間であるべきです。

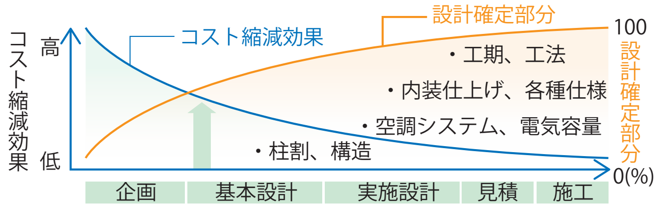
私たちは、歓迎する市民ひとりひとりが美しく映える舞台のようであり、観光客ひとりひとりの美しい青森の思い出の背景となるようなターミナルを提案します。

〈基本計画の課題とその実現方針〉

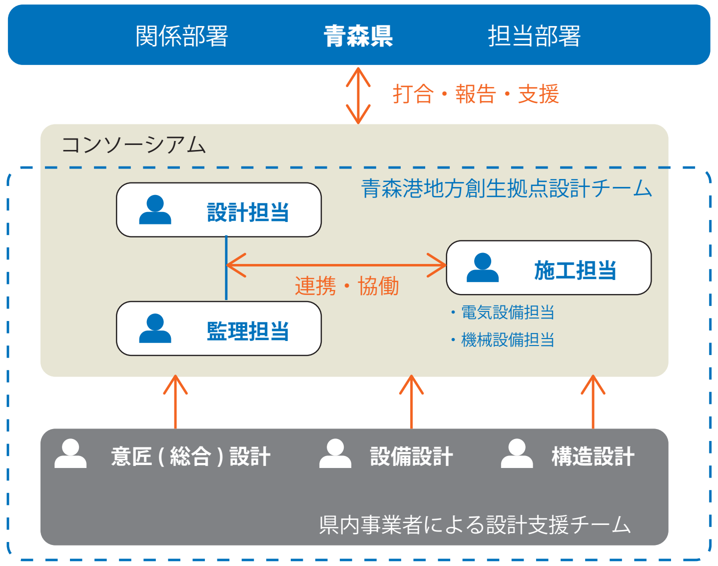
トータルマネジメントによる品質の向上

早期課題抽出やコスト管理

設計の初期段階から、課題を抽出し解決するとともに、段階ごとに建設コストや維持管理費をチェックし LCC 縮減を実現します。



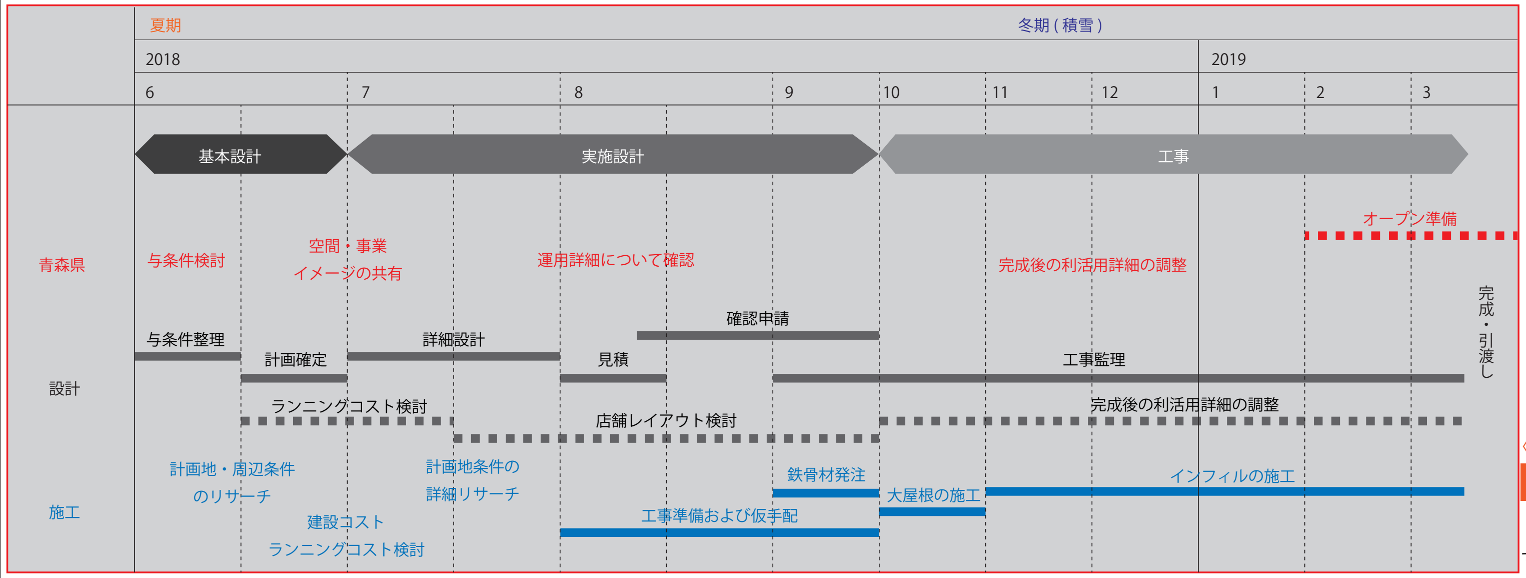
フロントローディングの効果



地域ネットワークを活かした実施体制イメージ

標準外業務までを含めたパッケージ提案

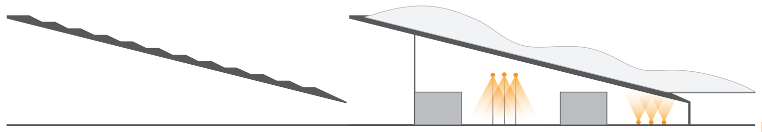
外構計画の提案やサイン計画など、一貫した全体計画を提案すると共に満足度の高い施設づくりを行います。



〈事業工程計画に関すること〉

諸問題を解決する「大屋根施工→インフィルじっくり」

まず大きな屋根のかかった広場をつくり、その下に必要な機能をインフィルとして施工していく工程は冬工事の諸問題をクリアし、短期間での設計・施工を可能にするとともに、運用時の自由度・柔軟性をも最大化します。設計初期段階から現地調査と工事準備を進め、課題を抽出し解決するとともに、段階ごとに建設コストや維持管理費をチェックし LCC 縮減を実現します。



夏季：大屋根の施工　　冬季：インフィルの施工

〈環境負荷及びライフサイクルコスト低減に関すること〉

更新修繕サイクルを考慮したメンテナンスフリーな施設

敷地環境に配慮した建築資材選定によりメンテナンス回数を削減するとともに、設備機器・内装と基幹設備の更新時期の長期化でメンテナンスにかかるコストを削減します。

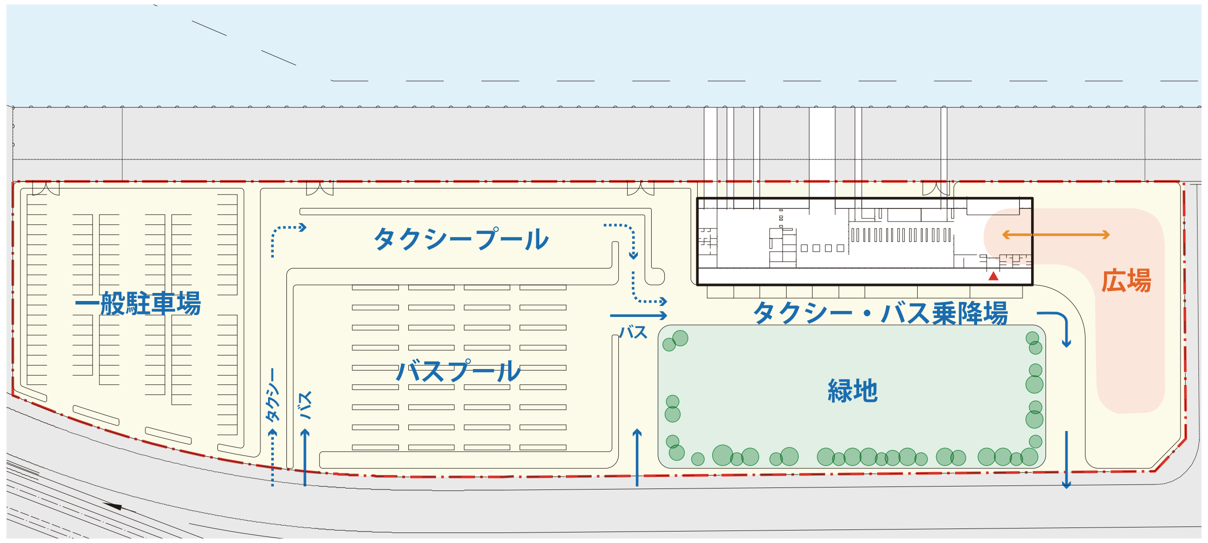
- 乾式間仕切り壁の採用
- インフィルのモジュール化
- 汎用機器の採用
- 全館 LED 照明の採用
- メンテナンススペースの確保

〈環境負荷及びライフサイクルコスト低減に関すること〉

地域特性を捉えた環境手法によるランニングコストの削減

長寿命化、費用対効果の高い環境技術の採用、メンテナンス性向上の徹底によって LCC 削減を最大化した計画を提案します。

- 外断熱工法の採用
- 複層 Low-e ガラスの採用
- 直射光を遮る庇
- 自然換気
- 全熱交換器の利用
- 居住域空調
- 全館ＬＥＤ照明
- 節水型器具の採用



将来を見据えた敷地の整備

常時は市民生活に癒やしを与える広場として使用できる計画とする一方、乗降人数の増加など将来を見据え、フレキシブルにバスプールの増設などの移動手段の再計画ができる敷地整備を提案します。

〈快適性に関すること〉

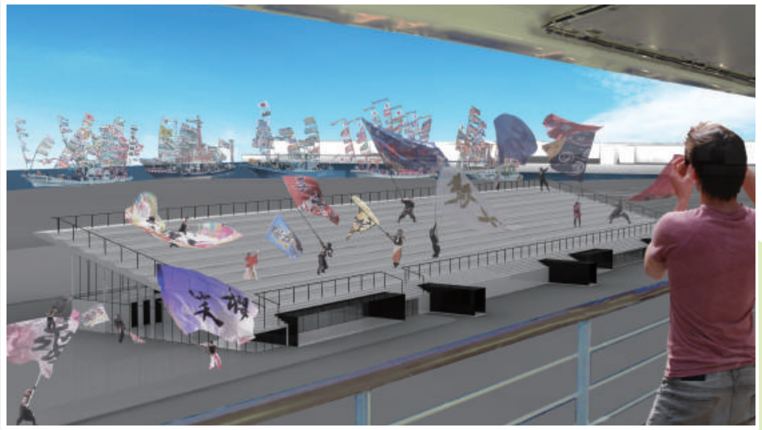
平行に長いターミナルと瑞々しさを演出する緑化計画

埠頭と平行に細長いリニアな建物配置は、道路からの引きを確保しつつ外構の緑化計画を充実させることが可能です。ターミナルと道路の間のスペースを緑化することで、ターミナル内部からの光景を瑞々しく演出しこれからの青森への期待感を高めることにつながります。

〈景観計画に関すること〉

大漁旗を振る市民たちが青森港エリアのシンボルに

長さ 90m の大きな屋根は、慎ましい角度の傾斜をかけて街並みや周辺地域との調和をはかります。程よい傾斜は青森港やクルーズ船を眺める舞台となります。よけいなデザインを省いたミニマルな建物はスケールの大きな青森港エリアにほどよく調和し、大屋根の上で大漁旗を振る市民たちの姿を美しく見せてくれます。



〈副次機能に関すること〉

青森の夏を満喫する新しい眺望スポット

市民を載せる舞台のような大屋根は、美しい夕日に染まる青森港の光景や、青森ねぶたの海上運行と花火大会を眺める格好の桟敷席となります。同時に開かれるマーケットなど、市民力をプロデュースすることでこのエリア一帯が新しい賑わいの中心地として発展していきます。

〈快適性に関すること〉

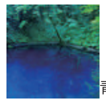
ターミナル内外から望む圧倒的な青森港の眺望

室内からは各所に設けられた大きな開口部から、大屋根の上からは直接風を感じながら圧倒的な青森港の眺望を楽しむことができます。

〈快適性に関すること〉

入館の瞬間に心おどる、メリハリをつけた空間演出

ソーラスフェンスからターミナルまでつながるトンネルアクセスは、観光客を雨に濡れずに内部までアプローチさせるのと同時に、入館時に一気に視界が広がるこれまでにない空間演出の序章となります。「青森で出会う様々な青（アオモリブルー）」をテーマとしたモザイクタイルなど複雑で奥行きのある表情をもった大屋根は、太陽光に反射してきらめく圧倒的な空間体験を入館者に与えます。心おどる多様な青はこれから出会う青森の様々を予感させて期待感を高め、帰船時にはこの旅で出会った美しい光景の数々を思い起こさせるトリガーとなります。

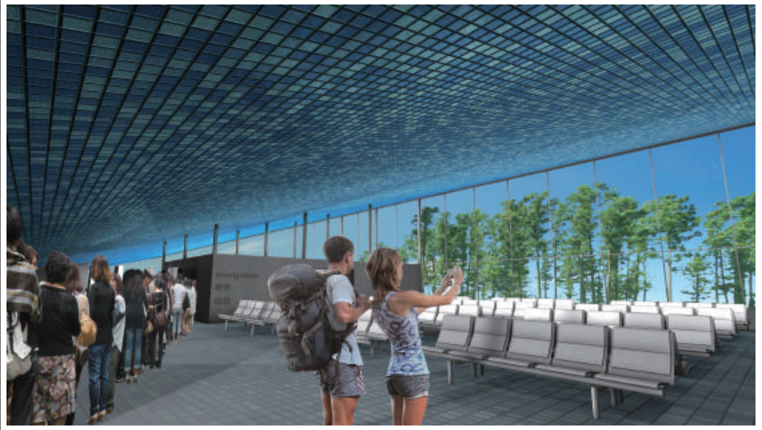


青池

BORO

奥入瀬渓流

津軽塗



〈快適性に関すること〉

県産木材を活用したやわらかなインテリア

インフィルで挿入される諸室や設備コア・ショップブース・待合什器などの造作は県産木材の優しい表情を活かしたやわらかなインテリアを提案します。

〈基本機能に関すること〉

フラットでシンプル、ひと目で分かる内部空間

誰でも問題なく通行できる段差のないターミナル内部の動線は、ひと目でわかるように一方向へ向けた計画を提案します。細長く適度な奥行きの空間は方向性を認知しやすく、外国人観光客や高齢者などにとっても明快な動線計画となります。また、サイン計画では専門のグラフィックデザイナーを起用し、誰でもわかりやすいピクトグラムの開発などユニバーサルなデザインを提案します。

〈基本計画に関すること〉

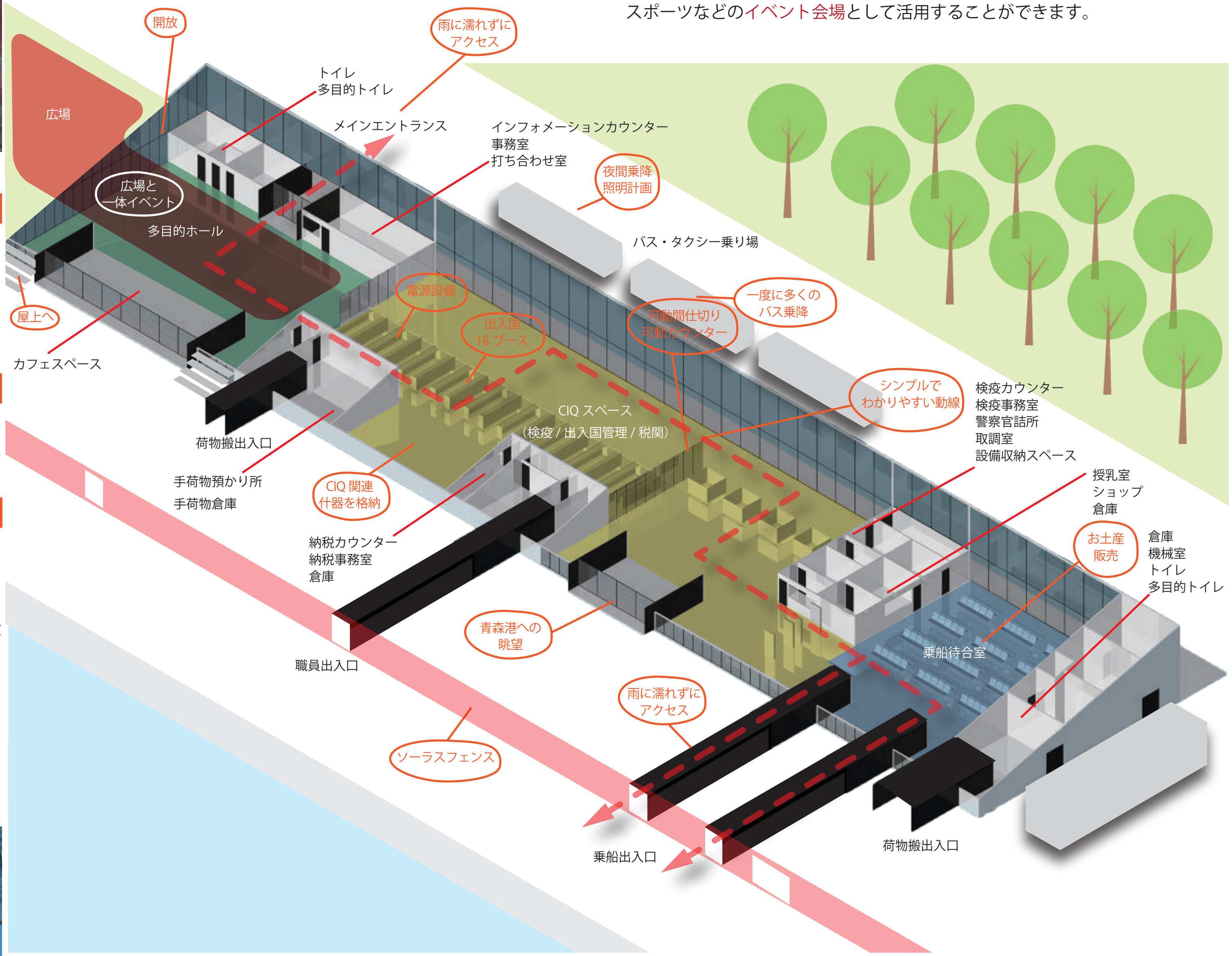
滞留を許容するスペース設計、バス・タクシーへの快適な移動

一度に多くの人が通過する CIQ エリアではカウンター前後のスペースに余裕をもたせ、滞留を許容できるようなレイアウトを提案します。ターミナルと並行して連なるバス乗場・タクシー乗場は大庇で雨雪から観光客を守り、その長さによって一度に多くの台数のバス・タクシーの乗降を可能にします。

〈副次機能に関すること〉

市民生活の新たなうるおいの舞台として

このターミナルはクルーズ船が寄港していない時には市民のあらゆる活動の舞台となります。ターミナル内部は可動の什器や建具などフレキシブルに空間を拡張することが可能で、隣接する広場と一体となったクラフトフェアや朝市・スポーツなどのイベント会場として活用することができます。



〈基本機能に関すること〉

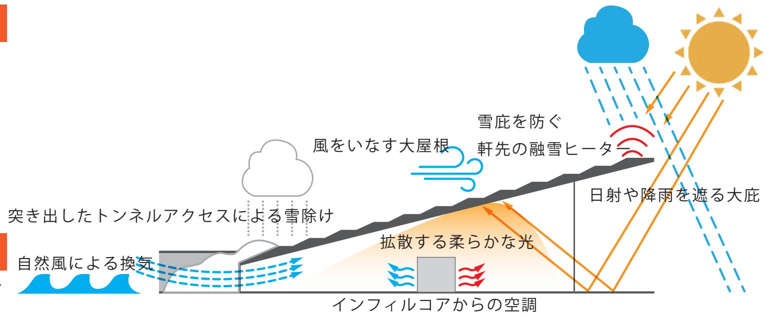
観光客を積雪・落雪・海風から守るトンネルアクセス

クルーズ船からターミナルまでの動線はトンネルアクセスを使用します。トンネルは通年で雨風から観光客を守り、冬期にも屋根からの落雪の危険を防ぎ安全かつスムーズにターミナル内まで誘導します。

〈基本機能に関すること〉

トンネルアクセスが可能にする出入国前後の柔軟な管理と空間活用

トンネルは一方向の動線をつくるのと同時に横方向の空間を区切る効果も生まれるため、出入国前後の空間活用にバリエーションをつくることが可能です。



構造計画

安全性・工程・耐久性・LCC の最適化をもたらす構造計画

施工者までを含めたコンソーシアムの強みを活かし、材料手配やファブリケーターの確保など工程管理と安全性、LCC の削減までを両立できる構造形式を採用します。

構造体に用いる材料、部材には特殊なものは使用せず、既存の材料・構法を適材適所として適用し、建設費を圧縮するとともに建物の長寿命化を図ります。建築計画を有効活用する空間を確保しつつ、耐震要素を効率よく配置し経済的で安全な建物を実現します。

屋根面には人が載ることを想定し、振動障害が生じないよう十分な剛性と耐力を有する版を配置します。

塩害と風害に強い構造形式の採用

常時吹き付ける海風による塩害と風害に耐える構造材料・形式を提案します。施設の用途上、高腐食環境下にさらされることが不可避であることから、部分的に耐食性の高い材料を用い建物耐久性を確保します。また鉄筋コンクリート部についても水セメント比やかぶり厚を考慮し、供用期間中に大規模な改修が不要となる構造を確保します。また風についても通常の建物よりも影響が大きいことから、風荷重の設定方法にも配慮し構造検討を行います。

上部構造～基礎～杭をトータルに検討

上部構造の検討とともに、地盤調査結果より基礎についても詳細な検討を行い、経済性を考慮した基礎の比較検討を事前に行うことにより、安全で経済的な基礎形式を採用します。また基礎の検討においても、コスト削減を意図し詳細な構造解析を実施します。

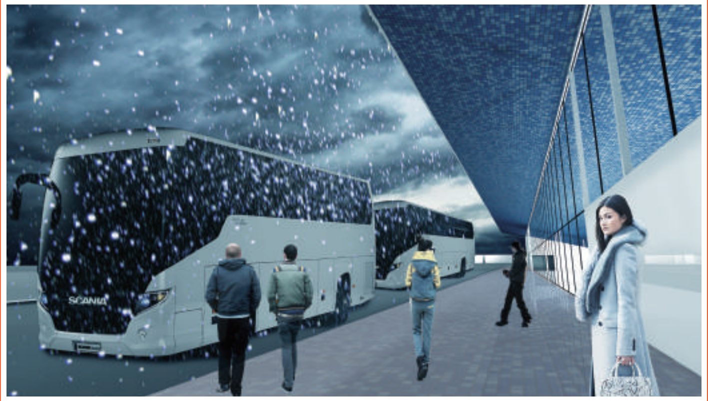
防災対策

地震対策：落下物対策を確実に

地震の揺れによる落下を防ぐため天井吊の設備機器を極力なくし、照明・空調までを含めて床とインフィルコアからの設備サービスを基本とすることで天井落下による 2 次被害がないターミナル空間とします。

雪庇対策：季節を問わず快適で安全なバス乗降

東側に大きくせり出した庇先端にはヒーター融雪を設置し、雪庇の形成と落下を未然に防ぐ安全なバス乗降スペースとします。



風対策：貝のように閉じた勾配屋根

西側に低くなる傾斜がついた勾配屋根は、通年で吹く卓越風、特に冬場の強風から室内を守ります。トンネルアクセスは雨風から観光客を守るのと同時に、施設内に強風が吹き込むのを防ぐ風除室の役割も果たします。